

ご報告

## 国際交流基金、ヤンゴン日本文化センターを開設 ～日本とミャンマーの市民レベルでの幅広い相互理解をめざして～

国際交流基金は、2018年にヤンゴンに仮事務所を設置し文化交流事業を開始しましたが、2019年3月、バハ  
ン郡区に多目的交流スペースをもつ「国際交流基金ヤンゴン日本文化センター」をオープンし、ミャンマーと日本の文化交  
流の輪を広げます。なお、本センターは当基金の25か所目の海外拠点となります。

ミャンマーは、2011年の民政移管後、外国からの投資や開かれた社会経済活動が活発になっています。そのなかで  
も日本の協力・支援に対する期待は高く、日本企業の進出などを背景に日本語ができる人材の需要が急増していま  
す。国際交流基金が毎年実施している日本語能力試験（JLPT）においては、ミャンマーからの受験申込者数は、  
2016年の約13,000人から2018年には約37,000人へと大幅に増加しました。これは全世界の国別受験申込  
者数5位で、東南アジア内でもベトナムに次いで2位となっています。これに伴い、日本文化そのものへの関心が着実に  
高まっています。これを好機ととらえ、現地機関と連携しながら当基金が主導するアジアセンター事業「文化のWAプロジ  
ェクト」や、日本文化紹介、日本語事業、日本研究・知的交流事業ならびに市民交流事業を強化・推進してまいりま  
す。

式典の様子



マウン・マウン・ソー ヤンゴン市長



ラーパイ・センロー アジアセンター諮問委員

1月24日には、3月の開所に先立ち、記念式典が開催されました。式典には、ヤンゴン市長マウン・マウン・ソー  
氏、駐ミャンマー日本国特命全権大使・丸山市郎氏、国際交流基金アジアセンター諮問委員ラーパイ・センロー氏、国  
際交流基金理事・櫻井友行、国際交流基金ヤンゴン日本文化センター所長のほか、日本語教育関係機関、大学等  
研究機関の代表や日本との関わりの深いアーティストや文化人らが新しい文化ハブの誕生を祝しました。来賓からは「今  
後このセンターが、多様なミャンマーの文化コミュニティの方々和日本との交流の場として盛り上がっていくことを強く願っ  
ている」（ヤンゴン市長）、「日本を伝えるとともに、文化を通じてミャンマーの人々のキャパシティを高める活動の場となっ  
てほしい」（アジアセンター諮問委員）といった期待が寄せられました。

### この件に関するお問い合わせ：

国際交流基金 コミュニケーションセンター（広報担当：原田）

Tel: 03-5369-6075 / Fax: 03-5369-6044

E-mail: [press@jpf.go.jp](mailto:press@jpf.go.jp)



HARADA

日本とミャン  
マーの幅広い  
市民レベルで  
の相互理解を  
めざすことに  
まが、さらに  
！

## ご報告

### 記

- 【名称】 国際交流基金ヤンゴン日本文化センター（所長：佐藤幸治）
- 【住所】 No. 70, Nat Mauk Lane (1), Bahan Township, Yangon
- 【体制】 所長ほか日本人スタッフ3名、現地スタッフ5名
- 【開設日】 2019年3月
- 【事業】※
- ・日本文化講座
  - ・音楽、美術、演劇等芸術分野のアジア域内の双方向交流事業
  - ・ワタン映画祭、日本映画祭など映画交流事業
- ※2019年度事業、予定を含む

以上